

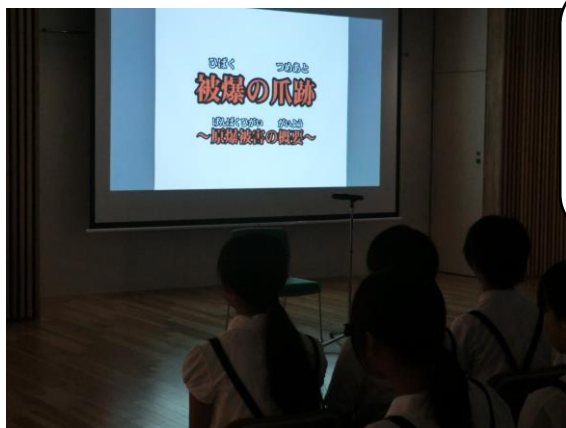
戦争と平和についてのおはなし会 ～よつば小学校～

平成30年7月31日(火)に、よつば小学校6年生を対象として「戦争と平和のおはなし会」を開催しました。

最初に、富山大空襲を体験した五島さんのお話を元にお話を楽しむ会のボランティアさんが作られた紙芝居を読み聞かせてもらいました。



富山空襲の5日後に投下された原子爆弾の悲惨な被害を伝えるDVD「被爆の爪跡」を視聴しました。恐ろしい原爆の被害を映像や音で感じ、これまで以上に戦争の実相を身近に捉えることができました。



原爆による街の被害や後遺症による体への被害など、恐ろしい映像から真剣に戦時中の様子を学習しました



次に、広島の実験記（原俊子さん）（三好妙子さん）二編の実験記朗読を静かに聞きました。



短いお話からも両親が傍で亡くなってしまふ悲しみや当時の過酷な生活、私たちの住む日本で実際に起こった、信じられないような話がこども達の心に響いているようでした。

**日頃当たり前に感じて
いることが幸せであり、
平和であるということ
学びました**



また、戦争とはどんなことか、自信の戦争体験を当時の防災頭巾を交えながらのお話と自分達と同年代の子が書いた詩を元につくられた絵本の朗読を真剣に聴きました。



最後に参加者全員で原爆詩を朗読
してから、原爆や戦争で亡く
なられた方のご冥福と世界の平和
を祈り黙とうをささげました

